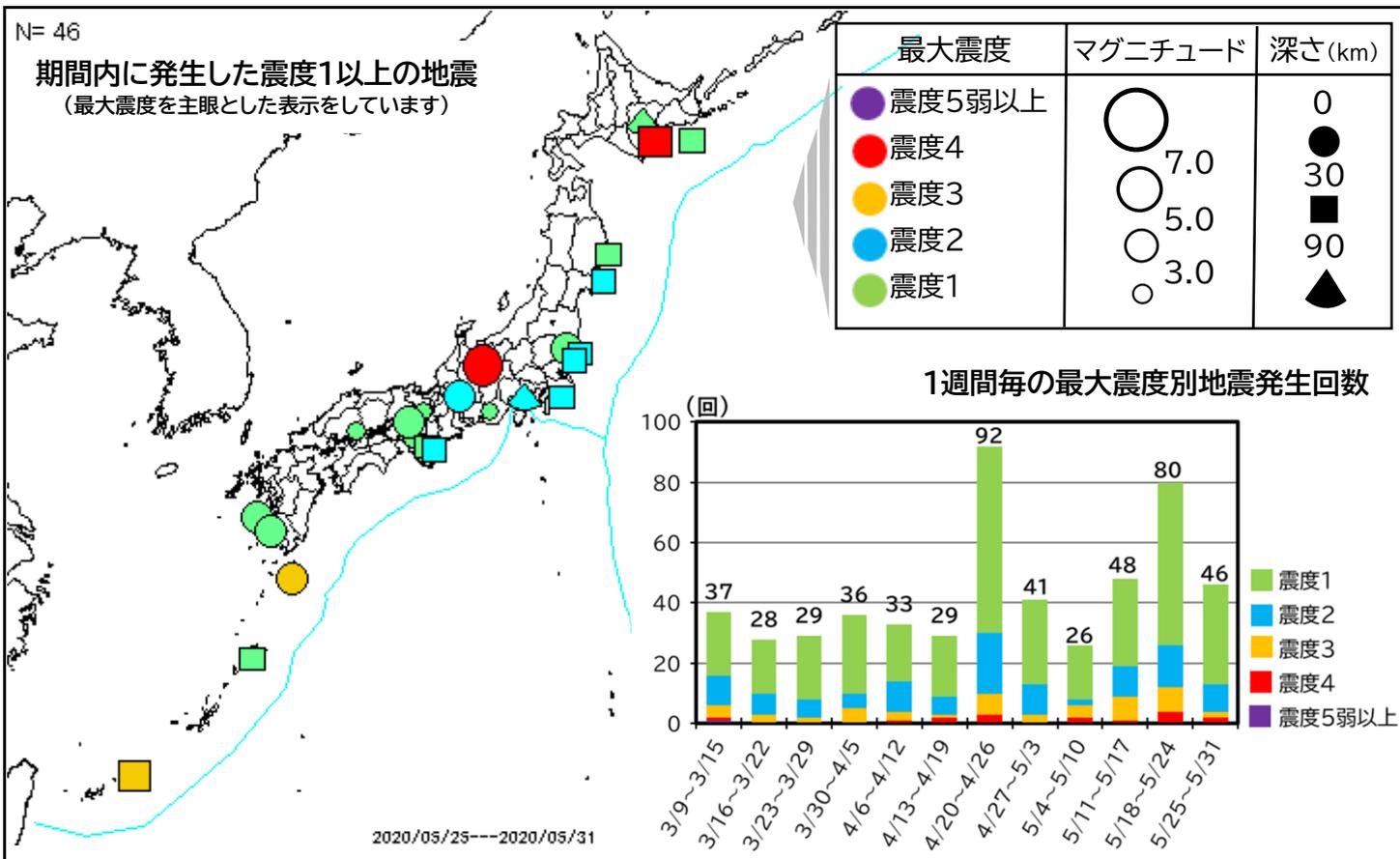


この期間の最大震度は4、長野・岐阜県境は消長を繰り返し継続

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が46回発生。最大震度は4。長野・岐阜県境は消長を繰り返し継続 ■
- ・27日18時19分に宮古島近海で発生した地震(M5.2、深さ51km)により、沖縄県宮古島市で震度3を観測。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。この震源付近では1997年以降、M5クラスの地震が5~7年のほぼ一定の間隔で繰り返し発生している。
- ・29日19時05分に長野県中部で発生した地震(M5.3、深さ4km)により、岐阜県高山市で震度4、長野県松本市で震度3を観測。この地震は4月22日から継続している(震源地名が岐阜県飛騨地方も含む)もので震度1以上を観測する地震が消長を繰り返しながら継続(トピックス参照)。
- ・31日03時14分に十勝沖で発生した地震(M5.8、深さ90km)により、北海道釧路市、根室市、標茶町などで震度4を観測。この地震は、北海道に沈み込んでいる太平洋プレートの二重地震面の下面で発生したものの。

トピックス

- 長野・岐阜県境の地震 …その後 ■
- ・地震情報で発表される震源地名が「長野県中部」の場合と「岐阜県飛騨地方」の場合があり、それぞれ違った場所で地震が発生しているようにも受け取られますが、これらは一連の地震活動です。
- ・このような群発地震は、ある範囲内で発生するのが通常で、今回の場合は長野県と岐阜県の県境付近で発生しているため、震源地名が「長野県中部」と「岐阜県飛騨地方」の場合があります。
- ・図は一連の地震活動(震度1以上)を3つの期間に区切ったもので、18日までの震央は長野県側がほとんどで、19日~28日は岐阜県側がほとんど、29日~再び長野県側が多くなるような変化をしています。
- ・最大震度となる地点は、震央と観測点の位置関係によります。図に近辺の震度観測点を■で示しました(①高山市奥飛騨温泉郷栃尾、②松本市安曇)。

